

経済建設常任委員会

9月10日から3日間、付託された決算議案9件の審査及び所管の事務調査並びに5か所の現地調査を行った。

(農林水産課)

新たな作物は

特産品作りとしてピーナッツの試験栽培を手がけた。品質も良好で加工品を道の駅で販売した。水産関係では御来屋漁港

の離岸堤移設や御崎漁港のケーソン製作・すえ付けを行った。山香荘は指定管理としたため経費の節減になった。利用促進も含め管理状況をチェックする必要を指摘した。



御崎漁港を視察

(農業委員会)

課題は多し

耕作放棄地の解消(おもに小枕・持倉団地)及び農業者年金の加入推進に取り組んできた。

(建設課)

待ったなし宅地販売

町営住宅の使用料の未納額が増加した。経済不況も要因と考えられるが、徴収率の向上に努力するよう指摘した。

ナスパルタウン住宅団地の販売実績は1件であった。起債償還を順調に進めるためにも宅地販売に一層努力することを求めた。

(大山振興課)

大山寺に賑わいが

空き店舗となっていた場所に(株)モンベルを誘致し、登山用品などを販売する新しい魅力ある店舗が大山参道入り口にできた。モンベルクラブ会員の会報に大山を紹介している。また、法人税の増収に大きく貢献して

いる。参道ギャラリーは年間2万5千人を超える来場者があった。

(観光商工課)

ちよつと得した気分

商工会が12月と4月に発行したお買い物券のプレミアム部分(2080万円)の助成をして消費拡大に寄与した。索道事業は雪不足のために営業日数が減少し大幅な減収となった。集客の努力など改善策を求めた。

(水道課)

料金の統一

検討委員会の答申により町内の水道料金は平成29年統一となる予定。簡易水道事業は佐摩・赤松・今在家・前・豊房の5か所が町管理に移行したが、開拓専用水道はまだ道筋が見えない。

現地視察

御崎・御来屋漁港の工事進捗状況を視察した。御崎漁港は、ケーソンすえ付けにより防波効果は大きいと確認し、御来屋



大山観光局事務局長と意見交換

漁港は、手狭な物揚げ場の拡大によってスムーズに作業ができると感じた。半田和文大山観光局事務局長と初めて意見交換をした。DBSクルーズ(境港と韓国・ロシアを結ぶ国際定期貨客船)に

よって韓国からの観光客が大幅に増加している。個人で来られる人の日本語ガイドの不足を懸念していた。